

災害がおこったときのことを考えてみましょう

# 災害への対応ハンドブック (聴覚障がい者向け)

このハンドブックは、あなたが大きな地震や台風などの災害がおこったときに、あわてず、落ち着いて身を守り、避難ができるようにまとめたものです。

ご家族や支援者の方も一緒にこのハンドブックを活用し、できるところから災害へのそなえに取り組んでください。



# 目次

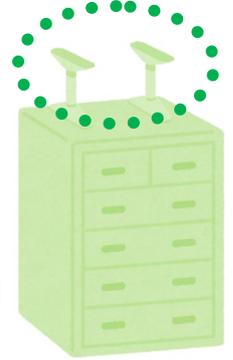
I	日ごろからの準備	
1	家の中の安全確保（おもに地震へのそなえ）	1
2	避難するときの持ち物（地震の場合）	2
3	避難場所や避難ルートの確認	4
4	家族以外の助けてくれる人を決めておく	6
5	避難行動要支援者マップへの登録	
II	地震がおこったら	
1	1人で家にいたら	7
2	1人で外出していたら	8
III	風水害がおこったら	
1	避難するときの持ち物	9
2	避難行動の判断	11
3	風水害のときのタイムライン（行動計画）	14
IV	あなたについての情報	15
V	聴覚障がいについて - 支援者のかたへ -	16
○	災害用伝言板・電話リレーサービスについて	17
○	コミュニケーションボード	18
○	指文字一覧表	20

# I 日ごろからの準備

## 1 家の中の安全確保（おもに地震へのそなえ）

たんすや戸棚などは、倒れないように  
固定します

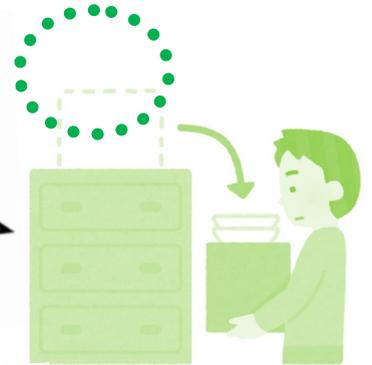
倒れてきたら  
とても危険  
です



じゃまにならない所に置きます

棚の上などに重いものを  
置かないようにしましょう

のせてある物を  
下におろしてお  
きましょう



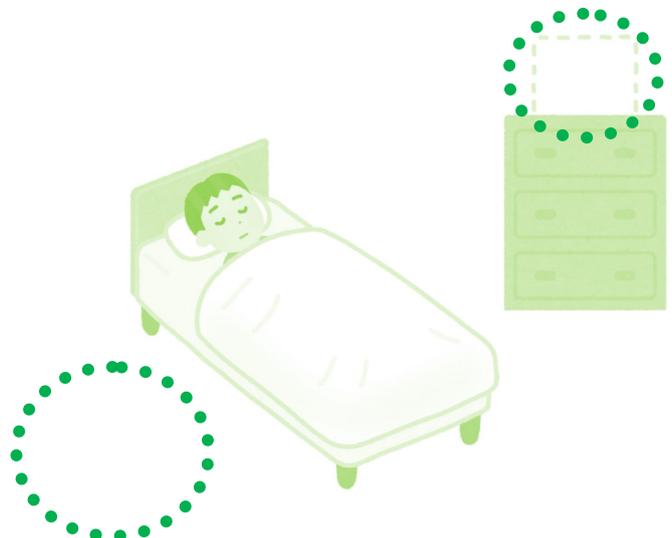
部屋を片付けて、通路に物を  
置かないようにしましょう

にげる時に  
つまづいたりして  
危険です



寝る場所の安全を確認します

- ・落ちてくる物はないですか？
- ・つまづくものはないですか？



## 2 避難するときの持ち物（地震の場合）

非常持ち出し袋（リュックサック）の用意をします

非常時に持ち出すもの			
<input type="checkbox"/>	たべもの (すぐに食べられるもの)	<input type="checkbox"/>	体温計
<input type="checkbox"/>	のみ水	<input type="checkbox"/>	貴重品（通帳、印鑑等）
<input type="checkbox"/>	携帯電話と充電器	<input type="checkbox"/>	現金（小銭も）
<input type="checkbox"/>	補聴器（補聴器の電池）	<input type="checkbox"/>	健康保険証のコピー
<input type="checkbox"/>	時計	<input type="checkbox"/>	障害者手帳のコピー
<input type="checkbox"/>	懐中電灯	<input type="checkbox"/>	おくすり手帳のコピー
<input type="checkbox"/>	予備の電池	<input type="checkbox"/>	常用薬・頓服
<input type="checkbox"/>	着替え	<input type="checkbox"/>	筆記用具・ミニボード (書くものとペン)
<input type="checkbox"/>	タオル	<input type="checkbox"/>	ビニール袋 (ごみ、汚れ物、その他用)
<input type="checkbox"/>	(ウエット)ティッシュペーパー トイレットペーパー	<input type="checkbox"/>	歯みがき(水なしで使えるもの) 歯みがきガム
<input type="checkbox"/>	マスク	<input type="checkbox"/>	このハンドブック
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

※ 空欄に、あなたに必要なものを書き加えてください



避難時に身につけるもの	
<input type="checkbox"/>	歩きやすくじょうぶなくつ（安全ぐつ、底の厚いくつなど）
<input type="checkbox"/>	ヘルメット 防災ずきん
<input type="checkbox"/>	軍手 じょうぶな手袋
<input type="checkbox"/>	ふえ ホイッスル（助けを呼ぶため）
<input type="checkbox"/>	じょうぶな上着（落ちてくる物などでけがをしないため）
<input type="checkbox"/>	

※ 空欄に、あなたに必要なものを書き加えてください

- ◎ 『非常持ち出し袋』は、いつでも持ち出せるところにおいておきましょう
- ◎ 袋には、名前、住所、連絡先を書いておきましょう
- ◎ 『避難するときに身につけるもの』は、非常持ち出し袋の近くにおいておきましょう



### 3 避難場所や避難ルートの確認

#### (1) 一時避難場所と広域避難場所（主に地震のとき）

- ◎あなたが避難する『一時避難場所』と『広域避難場所』の場所を確認しましょう
- ◎『一時避難場所』は、災害がおこった時、一時的に身を守るために避難する場所で、自宅周辺の公園や駐車場等が指定されています
- ◎『広域避難場所』は、自宅に被害があった方などが避難する場所で、避難生活が長期間にわたる場合があります
- ◎あなたが避難する『一時避難場所』と『広域避難場所』の場所を確認しておきましょう
- ◎一時避難場所等の場所がわからない場合は、自治会の人や支援者などに聞いて確認しましょう

一時避難場所	
広域避難場所	

#### (2) 避難ルートは複数考えておく

災害が起こると、道沿いのこわれた建物や塀で道路がふさがれているかもしれません  
避難するルートは1つだけでなく、複数考えておきましょう



#### (3) 避難場所と避難経路を確認する

家族や支援者と自宅の近隣や通勤・通所の途中にある避難場所を確認してみましょう。いざというときにあわてずに避難することができます  
また、途中にある危険な場所についても、いっしょに確認しておきましょう

#### (4) 1人のときはどうするか、あらかじめ決めておく

- ・災害がおこったときに、家族や支援者がそばにいるとは限りません
- ・1人のときはどうしたらよいか、あらかじめ家族や支援者と相談し、決めておきましょう



《家族や支援者と決めたことを書きましょう》

《1人で家にいるとき》

- ・
- ・
- ・
- ・

《1人で外出しているとき》

- ・
- ・
- ・
- ・

#### (5) 日頃から地域の防災訓練に参加する

- ・地域の自治会などでは、防災訓練を行っています。訓練に積極的に参加して、地域の人にあなたのことを知ってもらいましょう
- ・また、訓練は、実際に一時避難場所や広域避難場所で行うので、避難場所の雰囲気も知ることができます

## 4 家族以外の助けてくれる人を決めておく

- ・あなたが1人で家にいるとき、災害がおこっても、家族や支援者がすぐにあなたのところへ来ることができるかはわかりません
- ・ご近所の方、自治会の方、親戚の方、友人など、家族や支援者がいないときにあなたを助けてくれる人を見つけておきましょう
- ・特に、近隣の住民の方とは、日頃からあいさつをして、あなたのことを知ってもらいましょう

### 《あなたを助けてくれる人》

氏名	住所	連絡先

## 5 避難行動要支援者マップへの登録

- ・市では、災害時の避難の際に支援が必要な高齢者や障がい者などの所在を正確に把握し、避難時の支援等に役立てるため、ご本人、ご家族等からの申請に基づき、名簿を作成しています
- ・名簿は、各地区の自治会長と民生委員に配付して活用します
- ・避難行動要支援者マップへの登録をお願いします

問い合わせ : 福祉政策課 福祉政策係

TEL (33)1667 FAX (33)1849

## Ⅱ 地震がおこったら

### 1 1人で家にいたら・・・

#### ① あなたの体を守る

テーブルやつくえの下にかくれたり、防災ずきんやヘルメット、ふとんやクッションなどで頭や体を守りましょう



#### ② 家の中の火を消す

地震のゆれが収まったら、ストーブやガスコンロなどのスイッチを切ったり、タバコの火の始末をしましょう



#### ③ 家族や支援の人を待つ

家族や支援の人が来たら、一緒に行動しましょう

来なかったら、6ページに書いてある「あなたを助けてくれる人」に連絡しましょう

#### ④ 非常持ち出し袋を持つ

家族や支援者が来なかったら、非常持ち出し袋を持ち、一時避難場所に避難しましょう



#### ⑤ 周りの人に助けを求める

このハンドブックやヘルプマークなどを周りの人に見せて、家族や支援者と連絡がとれるよう、助けてもらいましょう



## 2 1人で外出していたら・・・

### ① あなたの体を守る

かばんやリュックサックなどの持ち物で頭や体を守る



### ② 危ない場所からはなれる

電柱や切れた電線、自動販売機、ブロック塀などから離れる



### ③ 電車やバスに乗っていたら

駅員や乗務員に助けを求める

助けを求める時は、耳マークやヘルプマークなどを  
見せます



### ④ 周りの人の指示に従う

店員や従業員など、周りの人の指示に従いましょう

エレベーターやエスカレーターは使いません



### ⑤ 近くに誰もいなかったら

近くに誰もいない時は、あらかじめ家族や支援の人と決めた行動  
をとります

5ページに書いたことを確認します

### ⑥ 周りの人に助けを求める

人を探して、耳マークやヘルプマーク、障害者手帳を見せて  
事情を説明し助けを求めます



### Ⅲ 風水害がおこったら

#### 1 避難するときの持ち物

非常時に持ち出すもの			
<input type="checkbox"/>	たべもの (すぐに食べられるもの)	<input type="checkbox"/>	体温計
<input type="checkbox"/>	のみ水	<input type="checkbox"/>	貴重品 (通帳、印鑑等)
<input type="checkbox"/>	携帯電話と充電器	<input type="checkbox"/>	現金 (小銭も)
<input type="checkbox"/>	補聴器 (補聴器の電池)	<input type="checkbox"/>	健康保険証のコピー
<input type="checkbox"/>	時計	<input type="checkbox"/>	障害者手帳のコピー
<input type="checkbox"/>	懐中電灯	<input type="checkbox"/>	おくすり手帳のコピー
<input type="checkbox"/>	予備の電池	<input type="checkbox"/>	常用薬・頓服
<input type="checkbox"/>	着替え	<input type="checkbox"/>	筆記用具・ミニボード (紙とペン)
<input type="checkbox"/>	タオル	<input type="checkbox"/>	ビニール袋 (ごみ、汚れ物、その他用)
<input type="checkbox"/>	(ウエット)ティッシュペーパー トイレットペーパー	<input type="checkbox"/>	歯みがき(水なしで使えるもの) 歯みがきガム
<input type="checkbox"/>	マスク	<input type="checkbox"/>	このハンドブック
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

※ 空欄に、あなたに必要なものを書き加えてください

避難時に身に着けるもの	
<input type="checkbox"/>	歩きやすくじょうぶなくつ（安全靴、底が厚いくつなど）
<input type="checkbox"/>	ヘルメット
<input type="checkbox"/>	軍手 じょうぶな手袋
<input type="checkbox"/>	ふえ ホイッスル（助けを呼ぶためのもの）
<input type="checkbox"/>	雨具（雨がっぱ 傘 など）
<input type="checkbox"/>	

※ 空欄に、あなたに必要なものを書き加えてください

**風水害避難場所では**

- 避難場所に着いたら、受付をしてください  
（あなたの安否確認にもなります）
- 避難場所のスタッフの指示に従い、居場所が確保できたら、ゆっくり休憩しましょう  
（いつもと異なる環境で、疲れやすくなっています）
- 防災メールなどで情報を得ながら、風雨が収まり洪水の危険がなくなるまで過ごします  
帰宅のタイミングは、避難場所のスタッフにも相談できます
- 体調が悪い時には、我慢をせず避難場所のスタッフなどに伝えてください

## 2 避難行動の判断

### (1) 避難行動判定フロー

台風や豪雨の時のあなたの自宅の場所の危険性について調べ、  
避難行動を確認しましょう

ハザードマップであなたの家の場所を確認します  
家の場所には、色が塗られていますか？

はい

いいえ

原則として、**自宅の外に避難**します  
ただし、浸水の危険があっても、浸水する  
深さより高いところにいる場合や浸水して  
も水が引くまで我慢できる場合は、自宅で  
安全を確保します

原則として、**自宅内で安全を確保**します  
ただし、自宅が周りより低い場合や崖のそ  
ばなどにある場合は、自宅の外に避難しま  
す

避難に時間がかかりますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいる親せきや知人の家に  
避難できますか？

安全な場所に住んでいる親せきや知人の家に  
避難できますか？

はい

いいえ

はい

いいえ

警戒レベル3が出た  
ら、**安全な親せきや  
知人の家**に避難しま  
す

警戒レベル3が出  
たら、**風水害避難  
場所等**に避難しま  
す

警戒レベル4が出  
たら、**安全な親せ  
きや知人の家**に避  
難します

警戒レベル4が出た  
ら、**風水害避難場所  
等**に避難します

※ ハザードマップは、小田原市ホームページで確認できます

⇒ <https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/disaster/disaster/nature/damagefrom/floodmap.html>

## (2) 警戒レベルと避難行動、各種情報との関係

風水害の時には、注意報や警報などのほか、避難についての情報も出されます

テレビやラジオ、防災無線の放送などに注意して、避難行動をとれるようにします

警戒レベル	あなたの避難行動	避難情報、防災気象情報
警戒レベル1	災害への心構えを高めます	早期注意情報
警戒レベル2	避難に備えて、避難場所や持ち物などの確認をします	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報
警戒レベル3	高齢者や障がい者などの避難に時間がかかる人は危険な場所から避難します	高齢者等避難
警戒レベル4	すぐに避難します 避難場所への経路が危険な場合は、自宅や近隣の安全な場所に避難します	避難指示
警戒レベル5	もう災害が起こっています なるべく自宅内の安全な場所にいてください	緊急安全確保

◎あなたの家が、河川があふれて浸水のおそれのある場所に  
あったり、土砂崩れなどのおそれがある場所にある場合は、  
『風水害等避難所』や『土砂災害時一時避難施設』に避難します

◎あなたが避難する『風水害等避難場所』と『土砂災害避難施設』の  
名称と避難経路を記入しておきましょう

◎風水害等避難場所等の場所がわからない場合は、自治会の人や  
支援者などに聞いて確認しましょう

自宅の外に避難

風水害等避難場所	
土砂災害避難施設	

自宅の中で避難（自宅が安全な場所にある場合）

地図（自宅からのルートも描いておきましょう）



### 3 風水害のときのタイムライン（行動計画）

『タイムライン』は、風水害の時に落ち着いて行動できるよう、あらかじめ、あなたがとる行動を計画するためのものです

11ページの避難行動判定に従い、行動を書き入れてみましょう

時間	警戒レベル	避難情報	必要な情報					あなたの行動
			◎ 大雨	◎ 強風	◎ 高潮	◎ 氾濫	◎ 土砂	
3~5日前	警戒レベル1		◎ 大雨	◎ 強風	◎ 高潮	◎ 氾濫	◎ 土砂	
	警戒レベル2		注意報	注意報	注意報	注意情報		
	警戒レベル3	・高齢者等避難	警報	暴風警報	警報	警戒情報	警報	
	警戒レベル4	・避難指示			危険情報	警戒情報		
0時間	警戒レベル5	・緊急安全確保	特別警報		特別警報	発生情報	特別警報	

## IV あなたについての情報

### 基礎情報

ふりがな				生年月日			
名 前				性 別		血液型	
住 所							
障害者手帳	身体	<input type="radio"/>	療育	<input type="radio"/>	精神	<input type="radio"/>	コミュニケーション手段
障がいの等級	級			級			手話/筆談/
障がいの内容							

### 家族の情報

氏 名	続柄	連絡先(携帯電話)	その他

### 医療・福祉の情報

いつもの薬の名前	効 能		服用等の頻度	
かかりつけ医	病院名	診療科	病気などの内容	
薬局名			連絡先	
利用している福祉サービス	サービスの種類		連絡先	
相談支援事業所			相談支援専門員	
連合自治会			単位自治会	
			未加入	<input type="radio"/>

## V 聴覚障がいについて — 支援者のかたへ —

### 1 「聴覚障がい」について

「聴覚障がい」は、音や声が聞こえない、または聞こえにくい障がいです。生まれつき聞こえない人、日本語を獲得した後に聞こえなくなった人、加齢により聞こえにくくなった人など、聞こえの程度やサポートの方法は人それぞれです。

### 2 主な特徴とサポートする時のポイント

○外見からは聞こえないと分かりにくいので、視線の合わない場所から声をかけられて気づかなかった時、「無視された」と誤解されることがあります



●聴覚障がいについての間違った知識や思い込みをなくし、正しい知識を持つように努めましょう

○音による情報に気がつかず避難指示や配給の案内など必要な情報が得られないことがあります



●ホワイトボードや画用紙を活用して、文字や絵など、目で見て分かる工夫をして伝えましょう

○避難所など騒がしい場所で複数の人が同時に話すと、相手の口の動きや表情が見えず、話の内容が理解できなくなることがあります



●会話をする時は、相手と目を合わせ、話の内容が正しく伝わっているか確認し、筆談や手話を使用して伝えましょう

## ○ 災害用伝言板・電話リレーサービスについて

### 災害用伝言板（web171）

- ・災害用伝言板は、大地震や台風、集中豪雨等の風水害などが発生した場合に被災地の方の安否確認をインターネットを利用して行う伝言板です
- ・災害等の発生時、被災地域（避難所等含む）の住居者がインターネットを経由して災害用伝言板にアクセスし、伝言情報を登録します。登録された伝言情報は全国から確認可能です
- ・利用者登録が必要です（<https://www.web171.jp/>へアクセス）
- ・操作の手順は、次のとおりです
  - ① <https://www.web171.jp/>へアクセス
  - ② 伝言を登録したい電話番号を入力して「登録」をクリック
  - ③ お名前、安否、伝言を入力して「登録」をクリック
- ・災害用伝言板（web171）は、災害用伝言ダイヤル（171）と連携しており、登録された伝言を相互に確認することができます
- ・詳しくは、NTTのホームページ等でご確認ください

### 電話リレーサービス

- ・電話リレーサービスは、聴覚や発話に困難がある方と聞こえる方を通訳オペレータが[手話・文字]と[音声]とを通訳することにより、24時間365日、電話で双方向につなぐサービスです
- ・詳しくは、総務省のホームページ等でご確認ください

# ○ コミュニケーションボード

はい



いいえ



いたい



たすけて



わからない



ほしい



のみたい



たべたい



ありがとう



やめて



なまえ



じゅうしょ



でんわを

かけて

ください



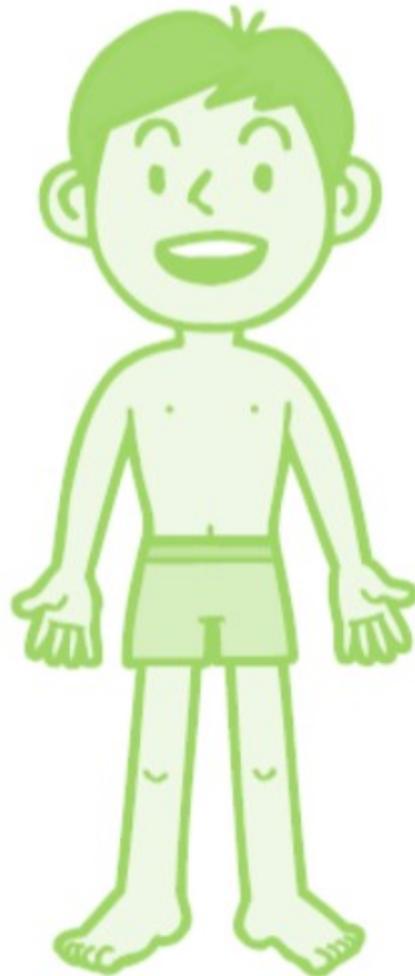
トイレ



くすり



からだのどこ？



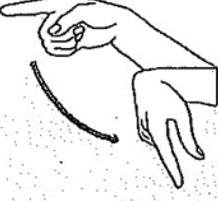
つかれた



こわい



	指		文		字	
わ	ら	や	ま	は		
ん	り	ゆ	み	ひ		
拗音	る	よ	む	ふ		
促音	れ	濁音	め	へ		
長音	ろ	半濁音	も	ほ		

一	覧	表		
<p data-bbox="331 232 438 322">な</p> 	<p data-bbox="596 232 703 322">た</p> 	<p data-bbox="863 232 970 322">さ</p> 	<p data-bbox="1129 232 1236 322">か</p> 	<p data-bbox="1394 232 1501 322">あ</p> 
<p data-bbox="331 584 438 674">に</p> 	<p data-bbox="596 584 703 674">ち</p> 	<p data-bbox="863 584 970 674">し</p> 	<p data-bbox="1129 584 1236 674">き</p> 	<p data-bbox="1394 584 1501 674">い</p> 
<p data-bbox="331 936 438 1025">ぬ</p> 	<p data-bbox="596 936 703 1025">つ</p> 	<p data-bbox="863 936 970 1025">す</p> 	<p data-bbox="1129 936 1236 1025">く</p> 	<p data-bbox="1394 936 1501 1025">う</p> 
<p data-bbox="331 1288 438 1377">ね</p> 	<p data-bbox="596 1288 703 1377">て</p> 	<p data-bbox="863 1288 970 1377">せ</p> 	<p data-bbox="1129 1288 1236 1377">け</p> 	<p data-bbox="1394 1288 1501 1377">え</p> 
<p data-bbox="331 1639 438 1729">の</p> 	<p data-bbox="596 1639 703 1729">と</p> 	<p data-bbox="863 1639 970 1729">そ</p> 	<p data-bbox="1129 1639 1236 1729">こ</p> 	<p data-bbox="1394 1639 1501 1729">お</p> 

はいりよ  
わたしが配慮してほしいこと

災害への対応ハンドブック（聴覚障がい者向け）

令和4年3月

小田原市 福祉健康部 障がい福祉課

TEL 0465(33)1468 / FAX 0465(33)1317

E-Mail [shofuku@city.odawara.kanagawa.jp](mailto:shofuku@city.odawara.kanagawa.jp)